

2010年5月25日  
株式会社みずほコーポレート銀行

## タイにおける邦銀初の顧客債権証券化について

株式会社みずほコーポレート銀行（頭取：佐藤康博）は、昨日、イオンクレジットサービス株式会社のタイ現地法人である AEON Thana Sinsap (Thailand) PCL（以下同社）が保有するタイ国内のクレジットカード債権を裏付資産とした証券化を実行しました。これは、タイにおける邦銀初の証券化案件です。

同社は1992年の創業後、2001年にはタイ証券取引所に上場するなど順調に業績を伸ばし、クレジットカード・パーソナルローン業界大手の地位を築いています。また、成長が見込まれるタイでの事業拡大にあたり、調達手段の多様化と安定化を目指しており、当行のアレンジによるクロスボーダーシンジケートローンをはじめ、さまざまな資金調達に取り組んでいます。

今回の証券化案件は、同社の主要業務であるクレジットカード債権を裏付としたタイパーツ建資産担保証券2,790百万パーツ（約78億円）を発行するものです。本件は、タイにおけるリーマンショック後初の本格的証券化案件であり、タイで初めてグローバル基準の外部格付を取得しています。

当行は、これまでも日本、米州、欧州にて証券化サービスを提供してきましたが、今後経済発展の見込まれるアジアでの証券化サービスを強化することにより、お取引先の資金調達の多様化ニーズにきめ細かく対応できることとなります。

以上